

[平成18年度設置]

流通経済大学 スポーツ健康科学部

設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 日通学園  
平成20年4月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 総務部長代理 アカイシ 赤石 マモル 守

電話番号 0297-64-0001

（夜間） 0297-60-1151

F A X 0297-64-0011

e-mail soumu@rku.ac.jp

## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	施設・設備の整備状況, 経費	10
4	既設大学等の状況	11
5	学部・学科別教員組織の状況	省略
6	留意事項に対する履行状況等	24
7	その他全般的事項	26

# 大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

学 校 法 人 日 通 学 園

### (2) 大学名

流 通 経 済 大 学

### (3) 大学本部の位置

茨城県龍ヶ崎市平畑120番地

### (4) 管理運営組織

職 名	認 可 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ウダガワ ヤスシ) 宇田川 靖 (平成16年4月1日)	(コダマ スグル) 児玉 駿 (平成20年6月1日)	
学 長	(ノジリ トシアキ) 野尻 俊明 (平成14年11月11日)	(コイケダ トミオ) 小池田 富男 (平成20年11月11日)	
学 部 長	(イヨダ ヤスオ) 伊與田 康雄 (平成18年4月1日)		
学 科 長 等	—		

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名 称 (学位)	認 可 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科  学士 (スポーツ健康科学)	4年	<del>180</del> 200人	年次 人	<del>720</del> 800人	平成18年10月収容定員変更届出済 <sup>⑨</sup> 入学定員 180→200名 収容定員 720→800名

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超 過 率	備 考
		人	人	人	人		
A 入学定員	(-)	180	200	200	( )	1.26倍	
志願者数	503	468	419	( )			
受験者数	472	451	397	( )			
合格者数	282	333	303	( )			
B 入学者数	254	238	239	( )			
入学定員超過率 B/A	1.41	1.19	1.19	( )			

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[ 2 ]	256	[ 1 ]	238	239	18年度の入学者と在学者の 差2名は、既存学部2年次から 1年次への転学部者 19年度 2年次 2名他学部へ 転学部 20年度 他学部より2年次へ 転学部者2名あり
2年次	/	/	[ 2 ]	240	235	
3年次	/	/	/	[ 2 ]	240	
4年次	/	/	/	/	[ ]	
計	[ 2 ]	256	[ 3 ]	478	[ 4 ]	

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成18年度	計 [ 0 ] 14	計 [ 2 ] 254	[ 0 %] 5.5 %
	うち平成18年度入学者 14人	うち平成18年度 254人	
	(主な退学理由) 進路変更(4人)、学費未納(4人)、他大学入学(1人)、家事都合(2人)、他大学受験(1人)、 経済的事情(1人)、勉学意欲喪失(1人)		
平成19年度	計 [ 1 ] 5	計 [ 3 ] 492	[33.3%] 1.0%
	うち平成18年度入学者 0人	うち平成18年度 254人	
	うち平成19年度入学者 5人	うち平成19年度 238人	
	(主な退学理由) 勉学意欲喪失(4人)、学費未納(1人)		
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 5 ] 731	[ 0 %] 0 %
	うち平成18年度入学者 0人	うち平成18年度 254人	
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 238人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 239人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ ]	計 [ ]	[ %] %
	うち平成18年度入学者 人	平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 各年度の入学者(編入学者を含む)ごとに退学者数(各報告年度4月20日現在で、前年度までの入学者について)を記入してください。

2 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

3 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

4 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科>

### (1) 授業科目表

授 業 科 目 の 名 称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	現代社会をどう見るか	1・2・3		2			1				退職のため⑱
	人と環境との関係を考える	1・2・3		2							
	社会の制度を知る	1・2・3		2							
	過去を知り現代へつなぐ	1・2・3		2							
	文化を通して心を耕す	1・2・3		2		1					
	世界を知り自己へつなぐ	1・2・3		2							
	人の心の発達を知る	1・2・3		2							
	人間形成について考える	1・2・3		2			1				
	人の一生とスポーツ	1・2・3		2		★					
	自然とともに生きる	1・2・3		2							
	ものごとの構造を論理的につかむ	1・2・3		2							
	憲法Ⅰ	1・2・3		2							
	憲法Ⅱ	1・2・3		2							
	現代文章論Ⅰ	1・2・3		2							
	現代文章論Ⅱ	1・2・3		2							
	総合教養講座Ⅰ	3・4		2							
	総合教養講座Ⅱ	3・4		2							
	外国語演習Ⅰ	3・4		2							
	外国語演習Ⅱ	3・4		2							
	外国語講読Ⅰ	3・4		2							
外国語講読Ⅱ	3・4		2								
日本の現在	1・2・3		2								
日本の思想	1・2・3		2								
日本事情	1・2・3		2								
日本語講読Ⅰ	3・4		2								
日本語講読Ⅱ	3・4		2								
情報科目	情報基礎Ⅰ	1		2		1					
	情報基礎Ⅱ	1		2		★					
外国語科目	英語AⅠ	1		1		1					
	英語AⅡ	1		1		★					
	ドイツ語AⅠ	1		1							
	ドイツ語AⅡ	1		1							
	フランス語AⅠ	1		1							
	フランス語AⅡ	1		1							
	スペイン語AⅠ	1		1							
	スペイン語AⅡ	1		1							
	朝鮮(韓国語)AⅠ	1		1							
	朝鮮(韓国語)AⅡ	1		1							
	中国語AⅠ	1		1							
	中国語AⅡ	1		1							
	ブラジル・ポルトガル語AⅠ	1		1							
	ブラジル・ポルトガル語AⅡ	1		1							
	英語BⅠ	1		1		★					
	英語BⅡ	1		1		★					
	ドイツ語BⅠ	1		1							
	ドイツ語BⅡ	1		1							
	フランス語BⅠ	1		1							
	フランス語BⅡ	1		1							
	スペイン語BⅠ	1		1							
	スペイン語BⅡ	1		1							
	朝鮮(韓国語)BⅠ	1		1							
	朝鮮(韓国語)BⅡ	1		1							
	中国語BⅠ	1		1							
	中国語BⅡ	1		1							
	ブラジル・ポルトガル語BⅠ	1		1							
	ブラジル・ポルトガル語BⅡ	1		1							
	英語CⅠ	2		1		★					
	英語CⅡ	2		1		★					
	ドイツ語CⅠ	2		1							
	ドイツ語CⅡ	2		1							
	フランス語CⅠ	2		1							
フランス語CⅡ	2		1								
スペイン語CⅠ	2		1								
スペイン語CⅡ	2		1								
朝鮮(韓国語)CⅠ	2		1								
朝鮮(韓国語)CⅡ	2		1								
中国語CⅠ	2		1								
中国語CⅡ	2		1								

	ブラジル・ポルトガル語C I	2		1						
	ブラジル・ポルトガル語C II	2		1						
	英語D I	2		1		★				
	英語D II	2		1		★				
	ドイツ語D I	2		1						
	ドイツ語D II	2		1						
	フランス語D I	2		1						
	フランス語D II	2		1						
	スペイン語D I	2		1						
	スペイン語D II	2		1						
	朝鮮（韓国語）D I	2		1						
	朝鮮（韓国語）D II	2		1						
	中国語D I	2		1						
	中国語D II	2		1						
	ブラジル・ポルトガル語D I	2		1						
	ブラジル・ポルトガル語D II	2		1						
	日本語A I	1		1						
	日本語A II	1		1						
	日本語B I	1		1						
	日本語B II	1		1						
	日本語C I	2		1						
	日本語C II	2		1						
	日本語D I	2		1						
	日本語D II	2		1						
	海外研修	3・4		2		★				
演習	教養総合演習 I	1		4		★	★	★		
	教養総合演習 II	2		4		★	★	★		
	専門演習 I	3		4		★	★	★		
	専門演習 II	4		4		★	★	★		
必修科目	スポーツ健康科学概論	1	2			1				
	機能解剖学	1	2			★				
	スポーツ救急教育概論	1	2				1			
	スポーツ教育学	1	2			+				退職のため⑳
	スポーツ生理学	2	2						1	留意事項に対応するため専任教員の追加⑲
	スポーツマネジメント論	2	2						1	
	スポーツ人類学	2	2					1		
スポーツ救急及び実習 I（救急処置）	2	2						1	+	
スポーツ実技科目	体操（器械運動・集団行動を含む）	1		1						
	陸上競技	1		1			1			
	水泳	1		1				1		★
	野球・ソフトボール	1		1						
	サッカー	1		1						
	ラグビー	1		1		1				
	アメリカンフットボール	1		1				1		
	テニス	1		1						
	バスケットボール	1		1		1				
	バレーボール	1		1						
	バドミントン	1		1						
	卓球	1		1						
	柔道	1		1		1				
	剣道	1		1						
	ダンス	1		1						
	エアロビクダンス	1・2		1						
	水泳・水中運動	1・2		1			★	★		★
スポーツ方法実習	1・2		1			★			★	
海浜実習	1	1						★	★	
共	スポーツ哲学	1・2・3		2						
	スポーツ史	1・2・3		2			★			
	スポーツ社会学	1・2・3		2						
	コーチ学	1・2・3		2		+	2			
	発育・発達論	1・2・3		2						
	スポーツと栄養 I	1・2・3		2						
	スポーツと栄養 II	1・2・3		2						
	スポーツトレーニング論	1・2・3		2				★		
	スポーツ運動学	1・2・3		2						
	スポーツ行政学	2・3・4		2						
	スポーツ心理学	2・3・4		2						

通 科 目	スポーツと法	2・3・4	2						
	運動処方論	2・3・4	2					★	
	健康教育学	2・3・4	2						
	野外教育とスポーツ	2・3・4	2				★		
	スポーツ情報分析論Ⅰ	2・3・4	2		★				
	スポーツバイオメカニクス	2・3・4	2						
	測定評価学	2・3・4	2						
	スポーツ医学Ⅰ	2・3・4	2		1				
	スポーツ医学Ⅱ	2・3・4	2						
	スポーツ外傷・障害と予防	2・3・4	2						
	テーピング論（実習を含む）	2・3・4	2						
	衛生・公衆衛生学（運動衛生学を含む）	2・3・4	2						
	マッサージ論（実習を含む）	2・3・4	2						
ス ポ ー ツ コ ー チ ン グ コ ー ス	コンデショニング論	1・2・3	2					★	
	メンタルトレーニング論	2・3・4	2						
	スポーツ技術・戦術論	2・3・4	2						
	スポーツ情報分析論Ⅱ	2・3・4	2						
	レクリエーション論	1・2・3	2						
	リハビリテーション論	2・3・4	2					1	
	スポーツコーチング論Ⅰ	2・3・4	2		★				
	スポーツコーチング論Ⅱ	2・3・4	2						
	スポーツコーチング論Ⅲ	2・3・4	2						
	スポーツトレーニング実習	2・3	1				1	★	
	レクリエーション実習	2・3	1						
	コンデショニング実習	2・3	1					★	
	測定評価実習	3・4	1						★
	リハビリテーション実習	3・4	1						★
	スポーツコーチング実習（インターンシップ）	3・4	1		★				
	体操（器械運動）コーチング	2・3	1						
	陸上競技コーチング	2・3	1				★		
	水泳コーチング	2・3	1						★
	野球・ソフトボールコーチング	2・3	1						
	サッカーコーチング	2・3	1						
	ラグビーコーチング	2・3	1		★				
	アメリカンフットボールコーチング	2・3	1						★
	テニスコーチング	2・3	1						
	バスケットボールコーチング	2・3	1		★				
	バレーボールコーチング	2・3	1						
	バドミントンコーチング	2・3	1						
	卓球コーチング	2・3	1						
柔道コーチング	2・3	1		★					
剣道コーチング	2・3	1							
ダンスコーチング	2・3	1							
ス ポ ー ツ 救 命 ・ ト レ ー ナ ー コ ー ス	ウェルネス概論	1・2・3	2		★				
	健康づくりと運動プログラム	1・2・3	2						
	健康管理論	2・3・4	2		★				
	スポーツ救急及び実習Ⅱ（救命処置）	2・3・4	2				★	★	
	スポーツ・ボランティア論	2・3・4	2					★	
	レクリエーション論	1・2・3	2						
	高齢者スポーツ論	2・3・4	2		1				
	障害者スポーツ論	2・3・4	2						
	スポーツ・カウンセリング論（実習を含む）	2・3・4	2						
	ストレッチング論（実習を含む）	2・3・4	2						
	エアロビック運動の理論	2・3・4	2						
	野外方法Ⅰ（海洋スポーツ）	3・4	1				★		
	野外方法Ⅱ（山野スポーツ）	3・4	1				★		
	ライフセービング実習Ⅰ	3・4	1					★	★
	ライフセービング実習Ⅱ	3・4	1					★	★
	スポーツトレーニング実習	2・3	1				★	★	
	レクリエーション実習	2・3	1						
	コンデショニング実習	2・3	1					★	
	測定評価実習	3・4	1						
リハビリテーション実習	3・4	1					★		
スポーツ救命・トレーナー実習（インターンシップ）	3・4	1					★		
スポーツトレーナー研究Ⅰ	2・3	1							
スポーツトレーナー研究Ⅱ	2・3	1		★					
スポーツトレーナー研究Ⅲ	2・3	1		★					
	スポーツメディア論	1・2・3	2						
	マスコミュニケーション論	1・2・3	2						
	スポーツ産業論	2・3・4	2						

留意事項に対応するため専任教員の追加  
⑱

★ 助手から講師に昇格による教員の追加⑳  
★ 助手から講師に昇格による教員の追加㉑

スポーツマネジメントコース	スポーツ経営学	2・3・4	2						
	健康づくりとジョギング	1・2・3	2						
	スポーツと余暇	1・2・3	2		★				
	スポーツ情報分析論Ⅱ	2・3・4	2						
	スポーツとコミュニケーション	2・3・4	2						
	国際スポーツ事情	2・3・4	2				1		
	スポーツ文化論	2・3・4	2			★			
	スポーツジャーナリズム論	2・3・4	2						
	スポーツ施設論	2・3・4	2						
	スポーツと地域貢献	2・3・4	2						
	スポーツと経済	2・3・4	2		★				
	スポーツ統計学	2・3・4	2						
	スポーツ・ジェンダー論(スポーツと女性)	2・3・4	2						
	スポーツ・フィールドワーク論	3・4	2			★			
	レジャー産業論	3・4	2		1				
	スポーツマネジメント研究Ⅰ	3・4	2						
	スポーツマネジメント研究Ⅱ	3・4	2						
	スポーツトレーニング実習	2・3	1			★	★		
	レクリエーション実習	2・3	1					★	
	コンデショニング実習	2・3	1					★	
	測定評価実習	3・4	1						★
	リハビリテーション実習	3・4	1						★
	スポーツマネジメント実習(インターンシップ)	3・4	1						★
スポーツマネジメント方法Ⅰ	3・4	1			★				
スポーツマネジメント方法Ⅱ	3・4	1					★		
スポーツ教育コース	教育原理	1	2			★	1		退職のため⑰ 専任教員の追加⑳
	教育社会学概論	1	2						
	教師論	1	2			★	★		退職のため⑰ 専任教員の追加⑳
	安全教育(学校安全を含む)	1	2						
	教育史	1	2			★	★		退職のため⑰ 専任教員の追加⑳
	教育課程論	2	2						
	保健体育科教育法Ⅰ	3	2		★				退職のため⑰
	保健体育科教育法Ⅱ	3	2		★				退職のため⑰
	教職特論演習Ⅰ	3	2		★				退職のため⑰
	教職特論演習Ⅱ	3	2		★				退職のため⑰
	教職特論演習Ⅲ	4	2			★			
	教職総合演習	3	2			★			
	道徳教育の研究	1	2						
	教育心理学	1	2						
	教育相談	2	2						
	精神保健学	2	2						
	学校保健学	2	2						
	生徒指導の研究	2	2						
	特別活動の研究	2	2						
	教育方法学	3	2			★	★		退職のため⑰ 専任教員の追加⑳
	スポーツトレーニング実習	2・3	1			★	★		
	レクリエーション実習	2・3	1					★	
	コンデショニング実習	2・3	1					★	
測定評価実習	3・4	1						★	
リハビリテーション実習	3・4	1						★	
スポーツ教育学実習(インターンシップ)	3・4	1		★	★			退職のため担 当者変更㉑	
スポーツ教材研究Ⅰ	3・4	1			★	★			
スポーツ教材研究Ⅱ	3・4	1		★			★		
スポーツ教材研究Ⅲ	3・4	1		★			★		
スポーツ教材研究Ⅳ	3・4	1		★					
経済学副専攻	ミクロ経済学Ⅰ	2・3・4	2						
	ミクロ経済学Ⅱ	2・3・4	2						
	マクロ経済学Ⅰ	2・3・4	2						
	マクロ経済学Ⅱ	2・3・4	2						
	社会保障論Ⅰ	3・4	2						
	社会保障論Ⅱ	3・4	2						
	環境経済論Ⅰ	3・4	2						
	環境経済論Ⅱ	3・4	2						
	経営学総論Ⅰ	2・3・4	2						
	経営学総論Ⅱ	2・3・4	2						
	会計学総論Ⅰ	2・3・4	2						
	会計学総論Ⅱ	2・3・4	2						

	流通概論Ⅰ	2・3・4	2						
	流通概論Ⅱ	2・3・4	2						
	簿記論Ⅰ	2・3・4	2						
	簿記論Ⅱ	2・3・4	2						
	事業戦略論	3・4	2						
	組織戦略論	3・4	2						
	経営財務論Ⅰ	3・4	2						
	経営財務論Ⅱ	3・4	2						
	法学副専攻								
	民法（総則）Ⅰ	2・3・4	2						
民法（総則）Ⅱ	2・3・4	2							
民法（物権）Ⅰ	2・3・4	2							
民法（物権）Ⅱ	2・3・4	2							
民法（債権総論）Ⅰ	2・3・4	2							
民法（債権総論）Ⅱ	2・3・4	2							
商法（総則・商行為）Ⅰ	2・3・4	2							
商法（総則・商行為）Ⅱ	2・3・4	2							
商法（会社法）Ⅰ	2・3・4	2							
商法（会社法）Ⅱ	2・3・4	2							
刑法（総論）Ⅰ	3・4	2							
刑法（総論）Ⅱ	3・4	2							
経済法Ⅰ	3・4	2							
経済法Ⅱ	3・4	2							
労働法Ⅰ	3・4	2							
労働法Ⅱ	3・4	2							
消費者法Ⅰ	3・4	2							
消費者法Ⅱ	3・4	2							
社会・福祉学副専攻									
社会福祉原論Ⅰ	2・3・4	2							
社会福祉原論Ⅱ	2・3・4	2							
公的扶助論Ⅰ	2・3・4	2							
公的扶助論Ⅱ	2・3・4	2							
児童福祉論Ⅰ	2・3・4	2							
児童福祉論Ⅱ	2・3・4	2							
老人福祉論Ⅰ	2・3・4	2							
老人福祉論Ⅱ	2・3・4	2							
地域福祉論Ⅰ	3・4	2							
地域福祉論Ⅱ	3・4	2							
社会保障論Ⅰ	3・4	2							
社会保障論Ⅱ	3・4	2							
介護概論Ⅰ	3・4	2							
介護概論Ⅱ	3・4	2							
障害者福祉論Ⅰ	3・4	2							
障害者福祉論Ⅱ	3・4	2							
社会調査法Ⅰ	3・4	2							
社会調査法Ⅱ	3・4	2							
観光学副専攻									
観光学概論Ⅰ	2・3・4	2							
観光学概論Ⅱ	2・3・4	2							
観光行動論Ⅰ	2・3・4	2							
観光行動論Ⅱ	2・3・4	2							
観光人類学Ⅰ	2・3・4	2							
観光人類学Ⅱ	2・3・4	2							
障害者旅行論Ⅰ	2・3・4	2							
障害者旅行論Ⅱ	2・3・4	2							
観光地理Ⅰ	2・3・4	2							
観光地理Ⅱ	2・3・4	2							
旅行業務論（法令及び国内旅行実務）	3・4	2							
旅行業務論（約款）	3・4	2							
旅行業務論（海外旅行実務）	3・4	2							
旅行業務論（運賃）	3・4	2							
旅行業務論（CRS）	3・4	2							
自由選択科目	教育実習（事前指導）	3		1		★	★		退職のため⑰
	教育実習（中学校）	4		4		★			教員の追加⑱
	教育実習（高等学校）	4		2		★			退職のため⑰

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 9	科目 322	科目 3	科目 334	科目 9 [ - ]	科目 322 [ - ]	科目 3 [ - ]	科目 334 [ - ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	ｽﾎﾟｰﾂﾏｼﾞﾝｸﾞ研究Ⅰ	2	3・4	専門	選択	担当者が他大学学長就任により退職のため、後任を採用予定
2	ｽﾎﾟｰﾂﾏｼﾞﾝｸﾞ研究Ⅱ	2	3・4	専門	選択	
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当者より退職の申し出があり、平成20年4月に「ｽﾎﾟｰﾂﾏｼﾞﾝｸﾞ研究Ⅰ」及び「ｽﾎﾟｰﾂﾏｼﾞﾝｸﾞ研究Ⅱ」を開講すべく後任を探したが見つからず、平成21年4月に向けて後任の担当者を採用すべく努力する所存である。学生には、4月のガイダンスにおいて、今年度は休講とし次年度開講予定である旨説明した。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計} \quad 2}{\text{認可時の計画の授業科目数の計} \quad 334} = 0.00$$

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	104,331 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	104,331 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	39,396 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	39,396 m <sup>2</sup>			
	小 計	143,727 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	143,727 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>			
合 計	143,727 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	143,727 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	59,379 m <sup>2</sup> ( 59,379 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	59,379 m <sup>2</sup> ( 59,379 m <sup>2</sup> )				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学修施設			
	44 室	43 室	9 室	17 室 (補助職員3人)	36 室 (補助職員2人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			教員増加のため⑳		
	スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科		<del>22室</del> 24室					
5 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書増加のため㉑
	スポーツ健康科学部	<del>30,404 [7,377]</del> <del>(30,404 [7,377])</del> 31,134 [7,451] (31,134 [7,451])	<del>33 [ 4]</del> <del>(33 [ 4])</del> 35 [ 6] (35 [ 6])	<del>0 [ 0]</del> <del>( 0 [ 0])</del> 2 [ 1] ( 2 [ 1])	<del>-184</del> <del>( -184 )</del> 209 ( 189 )	2,398 (1,135)	0 ( 0 )	
	計	<del>30,404 [7,377]</del> <del>(30,404 [7,377])</del> 31,134 [7,451] (31,134 [7,451])	<del>33 [ 4]</del> <del>(33 [ 4])</del> 35 [ 6] (35 [ 6])	<del>0 [ 0]</del> <del>( 0 [ 0])</del> 2 [ 1] ( 2 [ 1])	<del>-184</del> <del>( -184 )</del> 209 ( 189 )	2,398 (1,135)	0 ( 0 )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	4,199 m <sup>2</sup>		600 席		336,250 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,642 m <sup>2</sup>		スポーツ健康センター 6,445 m <sup>2</sup> , 柔剣道場 872 m <sup>2</sup> 武道場 343 m <sup>2</sup> , トレーニング場 412 m <sup>2</sup>					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度	
		教員1人当りの研究費等	670千円	670千円	図書購入費	15,043千円	1,800千円	
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	200,000千円	10,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	平成18年4月学費改定のため⑱ 平成20年4月学費改定のため㉑		
	<del>1,349,000</del> 1,359,000 1,373,000	<del>1,060,500</del> 1,070,500 1,081,400	<del>1,060,500</del> 1,070,500 1,081,400	<del>1,060,500</del> 1,070,500 1,081,400	<del>1,060,500</del> 1,070,500 1,081,400			
学生納付金以外の維持方法の概要		学校法人の資産運用収入をもって充当する						

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	流通経済大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	年		
経済学部 経済学科	4	250	—	1,030	学士(経済学)	1.18	昭和40	[龍ヶ崎 キャンパス] 茨城県 龍ヶ崎市平 畑120番地	平成20年4月 社会学部社会学科 定員変更 入学定員180→150名 収容定員720→600名 [平成20年2月届出済]
経営学科	4	150	—	600	学士(経営学)	1.20	昭和45		
社会学部 社会学科	4	150	—	690	学士(社会学)	1.09	昭和63	[新松戸 キャンパス] 千葉県松戸 市新松戸3丁 目2-1	
国際観光学科	4	120	3年次 20	520	学士(社会学)	1.04	平成5		
流通情報学部 流通情報学科	4	160	2年次 20 3年次 10	760	学士 (流通情報学)	1.10	平成8		
法学部 ビジネス法学科	4	100	3年次 10	470	学士(法学)	1.12	平成13		
自治行政学科	4	100	3年次 10	420	学士(法学)	1.15	平成13		

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
11	6	4	0	21	1	12	5	7	0	24	0	
(11)	(6)	(3)	(0)	(20)	(1)	[ 1 ]	[ Δ 1 ]	[ 3 ]	[ ]	[ 3 ]	[ Δ 1 ]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
5	教授	井筒次郎	他大学への割愛による退職（本人都合）

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>兼任教員を採用し対応した。また、一部科目（インターシップ）については、専任教員が担当することとした。          なお、学生への周知等については、4月当初に行われるガイダンス時に、担当者の変更等について説明した。</p>
--

6 留意事項に対する履行状況等

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
認可時 (17年12月5日)	「スポーツマネジメント論」「高齢者スポーツ論」には、専任教員を配置すること	⑩平成19年4月に「高齢者スポーツ論」及び「スポーツマネジメント」担当の2名の専任教員を採用し、教育の充実に努めることとした。 (平成18年8月教員審査「可」判定)	⑩「高齢者スポーツ論」担当の専任教員については、平成19年4月採用に向けて現在候補者を人選中であり、今年度教員審査を受ける予定である。 「スポーツマネジメント論」担当の専任教員については、平成19年4月採用に向けて現在候補者を探しているところである。
設置計画履行状況 調査時 (19年3月1日)	流通経済大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の入学定員超過の是正に努めること	⑨スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の入学定員超過率は、平成18年度は1.41であった入学定員超過率を、平成19年度は1.19に是正した。	

## 7 その他全般的事項

〈スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科〉

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

※関係規程等を転載又は添付すること

2000年度に「授業改善推進委員会」を設置し、これを引き継ぐ形で2004年度に「FD委員会」を設置。さらに2007年10月にはFD委員会の活動を吸収した新たな教学組織として「教育学習支援センター」を開設し、委員会組織として現在「教育学習支援センター運営委員会」を設置している。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会では、学長及び各学部選出の専任教員、事務職員が出席する定例会議に加え、授業アンケート等のプログラム実施時期には、担当委員が必要に応じて小委員会を開催していた。現在の教育学習支援センター運営委員会は、センター長、副センター長、各学部選出の専任教員、センター専任所員、教務部長、学生部長、事務部長、担当職員が出席して、毎月1回運営委員会を開催している。

##### c 委員会の審議事項等

- ・教育学習支援センターの活動計画について
- ・FDに関する具体的プログラムの実施について
  - －研修企画について
  - －授業アンケートの実施と評価、フィードバックについて ほか
- ・関連部局との連携等について ほか

#### ② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

##### a 実施内容

- ・授業研究講演会の開催
- ・授業アンケート
- ・教員向け授業手引書の作成
- ・他大学訪問による情報収集

##### b 実施方法

- ・授業研究講演会
  - 外部から講師を招き「大学の授業づくり」をテーマに開催。
- ・授業アンケート
  - 毎年12月頃に実施。
- ・教員向け授業手引書の作成
  - 本学で重視している1年生ゼミ担当教員向けに、教授ノウハウ等をまとめた冊子を作成し配付。
- ・他大学訪問による情報収集
  - FD活動等の積極的な大学を教育学習支援センター運営委員（専任教員および職員）が尋ねて情報交換等を行った。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業研究講演会
  - 昨年度に新規に開催し、専任教員の約7割が出席。
- ・授業アンケート
  - 毎年1回開催し、都度結果の公表を学内外に対して実施。2006年度からは全科目を対象に実施。
- ・教員向け授業手引書の作成
  - 編集委員となった専任教員7名のとりまとめにより、教職員26名の執筆協力により完成。ゼミを担当するすべての教員に配布された。
- ・他大学訪問による情報収集
  - 昨年度は、教育学習支援センター運営委員4名（教職員各2名）が他大学を訪問し、運営委員会で報告を行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学における授業改善への具体的な取り組みは2000年実施の授業に関する調査から始まったが、昨年は研修会の実施や他大学を尋ねての情報収集などが行われ、ゼミに関しては授業運営の手引書が編纂されるなど、教員間のノウハウの共有化も進められる状況にある。また、授業アンケートは継続的に行われており、その結果をより効果的に実際の授業に反映すべく、2005年度には各学部教授会に自己点検・評価実施委員会が置かれ、学部長を委員長とする委員会が責任を持つことで、必要に応じて各学科及び教員個人に対して有効な対応ができるよう、その具体策が検討されてきた。今後は、新設の教育学習支援センターのもとで関係組織が連携し、教員の教育技術の向上と学生の学修活動の支援のための活動を継続し、新たな施策についても積極的に展開する。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

平成20年3月(現在公表中)

平成19年度に認証評価を受け、評価の結果、(財)大学基準協会の大学基準に適合しているとの認定を受けている。(認定期間:平成27年3月31日まで)

b 公表方法

大学WEBサイト及び学報に掲載中。

さらに点検・評価報告書の作成配布を準備中

③ 認証評価を受ける計画

スポーツ健康科学部が完成年度をむかえた後、再度(財)大学基準協会の評価を受ける予定。